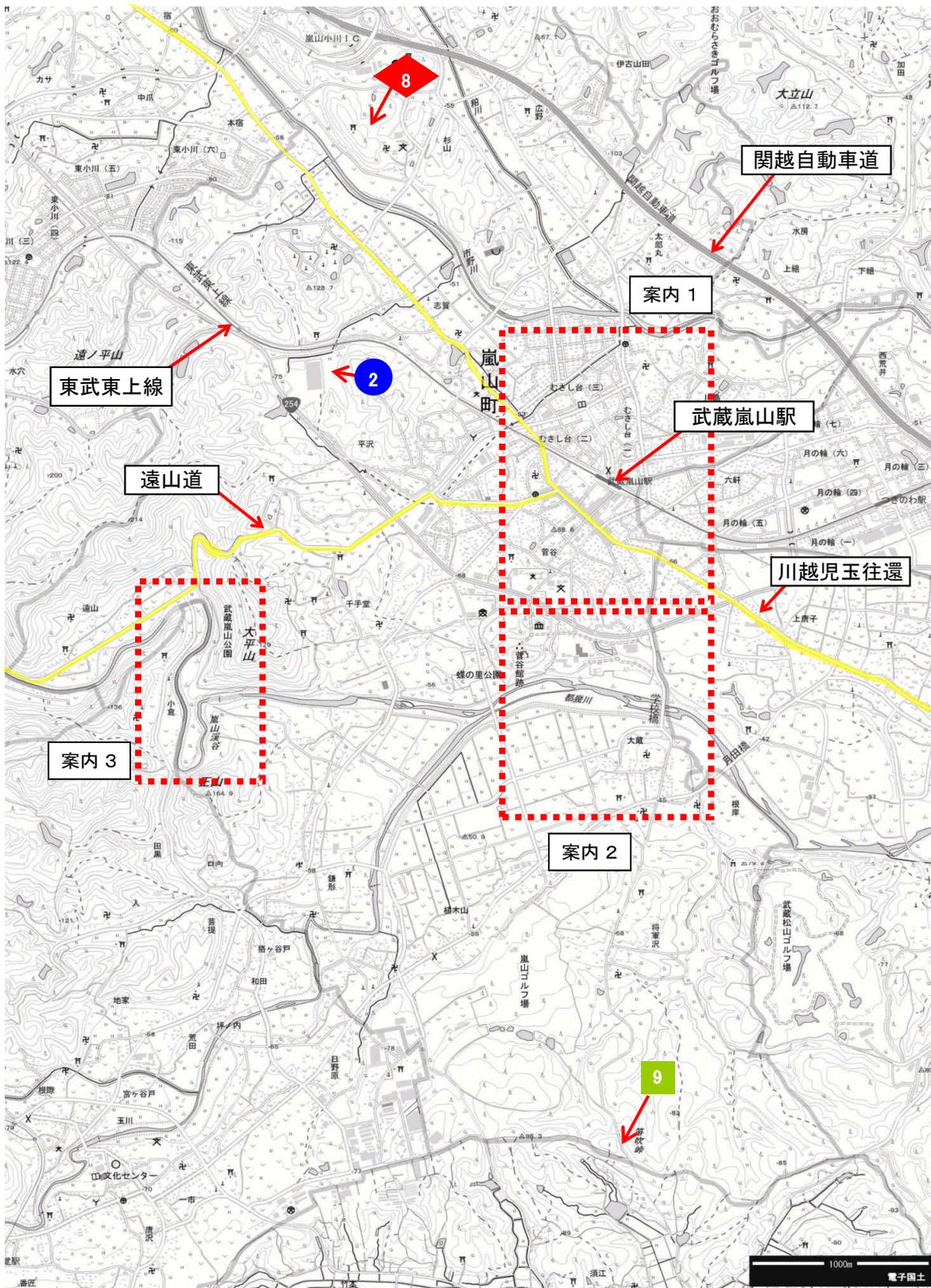


菅谷



案内図

 調査範囲

菅谷

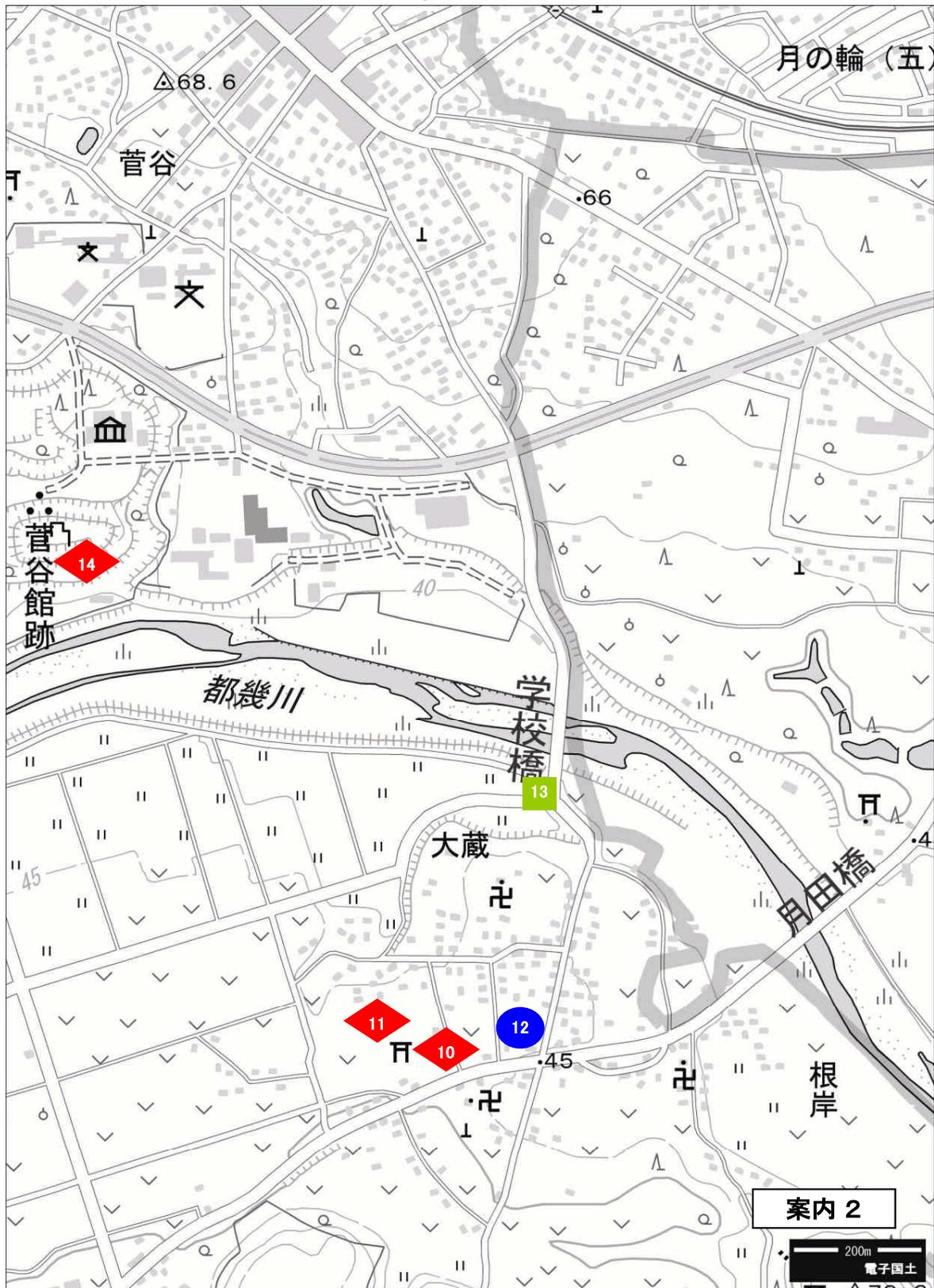


配置図-1

凡例

- ◆ 史跡・寺社等
- その他の建造物
- 通り・広場・樹木他

菅谷



配置図-2

凡例

-  史跡・寺社等
-  その他の建造物
-  通り・広場・樹木他

菅谷



配置図-3

凡例

- ◆
史跡・寺社等
- その他の建造物
- 通り・広場・樹木他

菅谷



嵐山・菅谷地区は、緑と清流が香る
 広大田園、及び里山の風景が広がる
 落ち着いた場所である。
 溪谷に挟まれたこの地区は、
 開発の手が加えられておらず
 貴重な景観資源が数多く残されて
 いる区域と言える。

(写真は遠山集落付近)

<p>1</p>	<p>2</p>	<p>3</p>
<p>鬼鎮神社</p> 	<p>嵐山町上水道水道局</p> 	<p>遠山集落</p> 
<p>鬼が神様として奉られている、 全国でも珍しい神社。 補修工事も済んでおり、きれいな 外観である。</p>	<p>屋上に上がると高台にあるので、嵐山の 街が一望できる。</p>	<p>村景色が広がり、ほっと落ち着く のどかな風景。</p>
<p>4</p>	<p>5</p>	<p>5</p>
<p>嵐山溪谷</p> 	<p>-1嵐山溪谷(休憩所付近)</p> 	<p>-2嵐山溪谷(与謝野晶子の歌碑)</p> 
<p>隠れ紅葉スポットだったが、テレビで紹介 され紅葉の名所として有名になった。</p>	<p>地形的な特徴が京都の嵐山に 似ていることから「武蔵嵐山」と 名付けられ、嵐山町の町名に 由来することとなった。</p>	<p>「比企の溪」をうたった歌碑。 赤松を歌っている。</p>

<p>6 -1日本赤十字社埼玉県支部旧社屋</p>	<p>6 -2日本赤十字社埼玉県支部旧社屋</p>	<p>7 住宅</p>
		
<p>文化財、明治に建てられたもの。柱や壁は薄い水色に塗られており、19世紀の末に、アメリカで流行したシンプルスタイル、またはコロニアルスタイルとも呼ばれている。</p>	<p>木造平屋で基礎部分は、煉瓦造りとなっている。全体的に当時の工事関係者の苦心のほどが、窺える際立ったデザインと創意性に満ちている。</p>	<p>藁葺きの屋根に鋼板を被せた屋根。風景に溶け込む。</p>
<p>8 杉山城跡</p>	<p>9 笛吹峠</p>	<p>10 大蔵館跡</p>
		
<p>自然の要害ともよぶべき、県内でも有数の城であり、典型的な山城である。</p>	<p>嵐山と鳩山の境の峠。上州・秩父山・関東平野が遠望される風光明媚である。</p>	<p>いまは空き地と化しているが、唯一石碑が聳え立っていた。</p>
<p>11 大蔵神社</p>	<p>12 住宅</p>	<p>13 学校橋付近</p>
		
<p>現在はなにもないが、館のあった名残が伺える。</p>	<p>越屋根のある長屋造りの民家。今で言う、ロフト風の小さい小部屋が2階の瓦の上に建っている。</p>	<p>川には白鳥が水を飲みにきていた。</p>

<p>14 菅谷館跡</p>	<p>15 長慶山 東昌寺</p>	<p>15 -2 長慶山 東昌寺</p>
		
<p>今は公園のようだが、三ノ郭などが残っている。 武士や騎馬の集合地として、使われていたらしい。</p>	<p>東昌寺は菅谷宿の北の端にある。 境内の大イチョウの木は見事である。</p>	<p>石像がとてもユニークなお寺。 一像一像じっくり眺めてもなかなか飽きない。</p>
<p>16 長慶山 東昌寺前の桜の木</p>	<p>17 菅谷宿 の北の端</p>	<p>17 -2 菅谷宿</p>
		
<p>道路の拡張より桜の木の存在が優先されている。</p>	<p>東昌寺入り口の通り。 川越・児玉往還にあった宿場の米寿屋が、当時の趣を感じさせる。</p>	<p>西に曲がれば遠山を超え小川方面。 今は拡張して広い道である。</p>
<p>18 -1 病院</p>	<p>18 -2 病院</p>	<p>18 -3 板塀のある通り</p>
		
<p>通りのシンボリックな建物。</p>	<p>長い屋根が特徴的。</p>	<p>板塀が存在感を増す。</p>

19 -4 板塀のある通り	20 店舗	21 蔵
		
<p>横道側の感じがまた違う。 漆喰のせいである。</p>	<p>石井輪店。への字の妻入りのお店。 景観上のアクセントになる。</p>	<p>屋敷林の中に蔵が見える。</p>
22 駅入り口付近	23 住宅	
		
<p>比較的新しい建物が多い。 街灯も見える。地方の一般的街並み。</p>	<p>丸いサッシが特徴。 新しい建物。町のシンボルになる。</p>	
25 梅の木	26 蔵	27 広場
		
<p>古木なので幹は太い。 梅の花が咲き通行人を和ませる。</p>	<p>蔵を現在も活用している。</p>	<p>駅入り口にある広場。</p>

27 -2広場 (東屋)	28 駅前通り	29 蔵
		
<p>観光に来た方が、気軽に休める憩いのスポット。</p>	<p>広さは同じ。少し歩道がある。車道との段差はない。</p>	<p>管理の良い蔵。</p>
30 防風林	31 店舗	32 街道南方面
		
<p>少し前までどこでもあった。サッシの発達で少なくなった。</p>	<p>道路に対してセットバックしてある。駐車スペースは必要だ。看板もシンボルになる。</p>	<p>建物が少なくなる。</p>
33 住宅	34 -1 住宅	34 -2 住宅
		
<p>平屋の民家。外壁の漆喰が見える。</p>	<p>嵐山町には、このような造りの民家がわりと多くみられた。</p>	<p>庭先にほこらがあった。当時、使われていたと思われる。</p>

<p>35 路地</p>	<p>36 嵐山町立図書館</p>	<p>36 -2 嵐山町立図書館</p>
		
<p>路地は狭い。塀があり車のすれ違いにはスピードを落としている。</p>	<p>ガラス貼りで、景観としても美しく明るく利用しやすい建物。</p>	<p>蝶のデザインの屋根のついたベンチ。明るく利用しやすい建物。デザイン、機能ともに良図書館と思われる。</p>
<p>36 -3 嵐山町立図書館</p>		
		
<p>オオムラサキの石碑が特徴的。やさしい作りになっている。バリアフリーで、歩行困難な方にもやさしい作りになっている。急すぎず、歩きやすい。</p>		